

### 六 沙漠旅行に就ての注意

飲料水と  
糶料及宿  
泊所の打  
算

沙漠旅行中最も注意すべきは、沙島より沙島に達する行程及び其の中間なる水草地(我は草なくして水を)の宿泊所ある所を打算し、第一に飲料水の適否を探り、糶の携行を加減せざるへからず。上述の如く、沙漠中にて沙島を成すの地又は水草地は、概ね鹹土なるが故に、縦ひ水を得るも苦鹹飲むに堪へざるもの多く、甚しきに至りては牛馬さへ飲用せざるもの有り。因て此點に深く留意せざるべからず。途上遠きも十五、六里近きは、七八里毎に沙島若くは水草地ありて、多少の人家又は單に官設民設の宿泊所を有する處あるも、宿舍は寧ろ名のみ空房にて、屋壞れ墻傾き多くは天井なく、一も器具什物の設備なき陋屋とす。而して沙島に於ても糶を得ること能はざる處多きに因り従て之れが携行の必要を生ず。

沙漠中に於ては、一たび宿地を發すれば、是非とも行程を續けて、豫定したる沙島若くは水草地の宿泊所ある地まで行進せざるべからず。其の間縦ひ長距離と雖も途中に停止するを得ざるなり。

沙漠の船

既に水あるも苦鹹飲むに堪へず。灌木蘆葦あるも以て牛馬を飼養し難し。然